

学校名 南種子町立西野小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	総合的な学習の時間の探究的な課題として、継続的に取り組んでいる。また、学校だけの取組で終わらず、地域と連携して活動を充実させ、行政や地域住民にも働きかけて環境問題を解決しようと実践している。
2 受賞候補校等の活動状況等	平成 18 年度以前より、5・6年生の総合的な学習の時間において、「環境」をテーマに取り組んでいる（隔年）。本年度はそのテーマで学習をする年で、一昨年度に続き、「海洋ごみ」についての探究学習を行っている。
(1) 活動の動機・頻度	
① 活動を始めた動機及び開始年月	
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	「海をきれいに、前之浜プロジェクト」
③ 月間又は年間活動回数	通年

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	前之浜海岸付近
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	児童9名，職員2名
⑥ 活動1回当たりの平均時間	1時間
⑦ 収集物の処理	分別し，リサイクル及び可燃処分
(2) 活動の独創性 活動の特徴	子供にとっては「ふるさとの海」である前之浜に目を向けさせている。また，前之浜はウミガメの産卵地でもあるため，郷土愛や生命尊重の心情を育てることに寄与している。さらに，子供たちに地球規模での海洋保護という広い視野をもたせる活動でもある。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	地域住民や観光客などが訪れる前之浜の景観を保つことに貢献している。
② 地域住民との協力活動	令和5年度の活動においては，学習の成果を地域住民の前で発表した。また，学習のまとめとして作成したパンフレットを，校区内・町内の公共施設や店舗に掲示させていただいた。 また，本年度の活動においては，町内の店舗前で街頭調査をさせていただいた。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	子供たちの活動に対しては理解を示し，学校評議員会等で肯定的な意見をもらうことができている。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連	前之浜海岸の清掃活動をとおして，環境保全や海洋保護への意識付けができた。SDGsとの関連も図ることができた。
① 環境教育と活動との結びつき	
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	活動に対して，大変意欲的に取り組む姿が見られた。校内や地域の清掃活動においても，進んで活動に取り組んでいる。分別など，ごみ問題に関する意識の高まりも見られた。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	・ 日常的な清掃活動及び緑化活動
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか（受賞年月日と表彰機関名）	なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	教育課程への位置付け
3 その他特記事項	特になし

環境美化教育活動報告書

南種子町立西野小学校

５・６年総合的な学習の時間「海をきれいに、前之浜プロジェクト」

I 令和５年度の活動

1 目的

南種子町にある前之浜海岸は、西野小学校区にある景勝地門倉岬の眼下に広がり、本校児童にとっても馴染み深い海岸である。また、この海岸には毎年ウミガメが産卵のために上陸している。そのような海岸であるが、漂着ごみを初め多くのごみが散乱しているという現状がある。そのため、本校ではこれまで現地でのごみ拾い活動などを行ってきた。

令和５年度は、ごみ拾いだけに止まらず、この活動をきっかけとした学習活動の展開を考えることとした。

具体的には、５・６年の総合的な学習の時間において、「環境」という大テーマ（隔年）の学習で「海洋の環境保護」という視点をもたせ、身近な海洋の環境保護やごみ問題について考えるきっかけとした。

2 活動の位置付け

	内容	実施月	詳細
1	前之浜海岸清掃	５月 下旬	P T A活動として週休日に実施
2	５・６年総合的な学習の時間「海をきれいに、前之浜プロジェクト」	５月 下旬 ～ ２月	① 海岸清掃をとおして気付いた海洋ごみについて問題意識をもつ。 ② 他地域で海洋ごみ問題に取り組んでいる人の事例を聞いたり、自分たちで調べたりする。 ③ 前之浜海岸に「拾い箱」を設置する。 ④ 活動をとおして分かったことや考えたことを、保護者や地域住民に発表する。 ⑤ 活動の結果をパンフレットにまとめ、地域(町内)住民に啓発する。

3 活動の実際

(１) 学習のはじまり

５月の海岸清掃の後、子供たちから「(処分できないため)拾わなかったごみはどうすればよいのか。」という疑問が出された。

そこで、この疑問を今後の学習へつなげるため、与論で「拾い箱」の活動をしている池田龍介さんに連絡を取り、リモートによる授業を行っていただいた。

子供たちは、池田さんの活動を参考に、前之浜海岸で同じような活動ができないか検討し、池田さんと同じ拾い箱の取組を行うこととした。

(２) 学習の展開

拾い箱の設置については、設置の可否について行政機関にも相談をした。その結果、熊毛支庁をとおして設置の許可をいただき、１学期の終わりに前之浜海岸に設置をした。



拾い箱に入れられたごみは、定期的に担当が学校へ持ち帰った。2学期になり、子供たちによる分別作業が行われた。



(3) 学習の成果発表

11月に開催された「西野フェスティバル」では、各学級による学習発表会が行われ、保護者や地域住民など、多くの方が参観される。5・6年生はこの場において、「前之浜プロジェクト」の成果発表を行った。

昔話「浦島太郎」をモチーフにしたオリジナルの台本による劇で、海洋ごみの問題について啓発する内容であった。この劇の小道具として、拾い箱をとおして回収したごみも使用し、前之浜海岸に落ちているごみの種類や多さに対し、観客にも興味をもってもらいきっかけとした。



この発表を一区切りとして、回収したごみの処分を行った。

当初は子供たちの手でごみ処理場まで運ぶ予定だったが、清掃会社の方が収集に来てくださるとのことであったので依頼をした。

収集当日は、5・6年全員で清掃会社の方にあいさつをし、収集を見届けた。



(4) 学習のまとめ

この学習をととして子供たちが分かったことや考えたことを、パンフレットにまとめた。作成したパンフレットは、多くの方に見ていただくために、公共施設や店舗などに置かせていただいた。

南種子町役場の他、西之地区郵便局、トンミー市場など、多くの人が集う場所に置くことで、子供たちが取り組んだ活動を知ってもらい、海洋ごみの問題に関心を高めてもらうきっかけとした。



II 令和7年度の活動

1 目的

本校は複式学級を有しており、総合的な学習の時間の探究テーマは隔年で変えている。そのため、子供たちにとっても初の活動となる。

「I」で示したものと同様の目的をもって、今年度も学習を展開する。

2 活動の位置付け

	内容	実施月	詳細
1	前之浜海岸清掃	5月 下旬	① 前之浜海岸でゴミ拾いを行う。 ② ゴミを持ち帰り、どのような種類の物が多いのかを調べる。
2	5・6年総合的な学習の時間「海をきれいに、前之浜プロジェクト」	5月 下旬 ～ 2月	① 海岸清掃をととして気付いた海洋ごみについて問題意識をもつ。 ② 海洋環境保護について、町民の意識調査を行う。 ※ 今後の活動については、子供たちの興味・関心を基にこれから決定していく。

3 活動の実際

(1) 学習のはじまり

6月5日、5・6年生の子供たちが前之浜海岸へ行き、ごみ拾いを行った。環境美化としての活動はもちろんだが、ごみの総量や種類にも着目しながら活動を行うことで、課題意識を高めた。



子供たちはごみを持ち帰り、種類ごとに分別を行った。この活動を通して、放置されたごみと同時に漂着ごみが多いことにも気付いていた。



(2) 学習の展開

子供たちは前之浜海岸でのごみ拾い活動を通して、ごみの量や種類の多さから「自分たちだけで解決できる問題ではない」ということに気付いた。

そこで、広く啓発活動を行っていくことを考えた。

まずは、6月25日に行われた「町長と語る会」において、5・6年生の子供から前之浜の海ごみ問題について話題を提示した。このことにより、本校で海ごみに対する活動を行っていること、子供たちが高い関心をもっていることを町当局の関係者に知ってもらうことができた。

また、次の活動として、町民の意識調査を行うこととした。右の写真のアンケートボックスを作り、「種子島の海ごみに関心がありますか。」「種子島の海でごみ拾いをしたことがありますか。」という質問を設け、回答を集めている。このアンケートボックスは、町内の「トンミー市場」に設置させてもらい、多くの町民の目に留まるようにしている。

今後の活動については、このアンケート結果や子供の興味・関心を基に決定していく。



III まとめ

前之浜海岸清掃を毎年行っていることで、海洋環境保護への子供たちの関心は高い。それに加え、令和5年度は5・6年の総合的な学習の時間において海洋ごみの問題を主テーマとしたため、子供たちは例年以上に高い関心をもち、自分事として捉えることができた。

今年度の5・6年生も海洋環境保護の学習をさらに深められるよう、計画を進めていきたい。